

[014] 雅俗表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4785216>

出版情報：雅俗. 14, 2015-07-17. 雅俗の会
バージョン：
権利関係：

■同人一覽

(維持同人)

天野 聡一	板坂 耀子	井上 敏幸
岩崎 義則	大久保順子	大庭 卓也
檜澤 葉子	勝又 基	亀井 森
川平 敏文	菊池 庸介	
ロバートキャンベル		
久保田啓一	白石 良夫	吉良 史明
園田 豊	高杉 志緒	進藤 康子
田中 道雄	中野 三敏	高橋 昌彦
中山 右尚	西田 耕三	中山 成一
沼尻 利通	菱岡 憲司	丹羽 謙治
村上 義明	盛田 帝子	宮崎 修多
吉田 宰	若木 太一	安永 美恵
李 静怡		脇山 真衣

(賛助同人)

穴山 健	飯倉 洋一	池澤 一郎
磯部 敦	位田 絵美	入口 敦志
岩井 眞實	大島 明秀	大野 雅之
岡田万里子	尾崎 千佳	神永 暁
柏崎 順子	加藤 弓枝	神作 研一
木越 治	清登 典子	工藤いづみ
工藤 俊玄	琴 榮辰	合山林太郎
佐方 章子	塩村 耕	清水 俊隆
神野 雄二	白瀬 浩司	末安 礼奈
勢田 道生	田邊菜穂子	中森 康之
西浦 和稔	服部 仁	花田富二夫
浜田 泰彦	伴野 英一	平岡 隆二
平山 聖悟	廣瀬千紗子	藤沢 毅
古相 正美	牧野 宏子	松村 美奈
水田 紀久	溝田 直己	宮 徹男
村田 裕司	柳沢 昌紀	矢野 準
山田 洋嗣	米谷 隆史	

(五十音順)

■後記

『雅俗』第十四号をお届けします。論考は四本。朝鮮本を、対馬藩が幕府との「外交」カードに使っていたことが知られる阿比留稿は、歴史学からも注目すべきものか。木村稿は「日本小説年表」の誤りを正すもので、草双紙研究の醍醐味が詰まっている。西田稿は明治文学研究への広がり予想される文高き論考。井上稿は俳諧一枚刷りの作者考証で、片々たる資料が、文学史のなかにマッピングされる過程が面白い。▼研究ノートの新連載は、小津久足の歌学随筆ともいふべき資料を紹介した菱岡稿。源氏物語を貶め、宣長を語るその歌学のスタンスは、当時の歌学界においてどう位置づけられるのか。続稿も期待される。▼学術エッセイ(連載)は、板坂耀子氏から入口敦志氏にバトンタッチ。総タイトルの「学問のいりぐち」は、もちろん洒落ですが、既成の方法論に安住せず、新しい学問の「入口」を求めて止まぬ、氏の学風を慕ってこう付けた。「私の研究履歴」は島津忠夫氏。若き頃の宗因との出会いが、一生続いていることに感銘を受けた。▼五月十一日〜同十八日にかけて、九州大学附属図書館所蔵の雅俗文庫を中心とした展示会(「雅俗繚乱」展)を開催した。たった一週間ほどの開催であったが、来場者は七百名を超える大盛況で、特に中野三敏氏ほかの講演が行われた日には、関西や東京から研究者も駆けつけて下さった。お陰様で、来場者に配付された解説パンフレットにも上々吉の評判をいただき、誠に有難いことであった。同人諸賢には、日頃の感謝を込めて、本号と同封してお送りいたします。(川平)

雅俗 第十四号

平成二十七年七月十七日 発行

■編集委員会

高橋昌彦 川平敏文 亀井 森
 菊池庸介 菱岡憲司

■発行

雅俗の会
 (事務局)

〒八二一八五八四
 福岡市東区箱崎六一一九一
 九州大学文学部 川平研究室内
 電話 092-642-2419
 e-mail: gazoku2@gmail.com

■印刷所

城島印刷株式会社
 〒八二〇一〇〇二二
 福岡市中央区白金二一九一六